

## 『協議』に係わる必要書類の詳細及び作成例について

### ◆必要書類(個人住宅建築の場合の参考例)

下表のとおり。図面含め **すべて2部ずつ**(県用・町用)提出が必要となります。

<b>協議書</b>	指定様式あり		
<b>計画概要書</b>	工事の概要を示した書面、任意様式(法定の様式なし)		
<b>位置図</b>	<input type="checkbox"/> 遺跡地図の写し(町で添付可) <input type="checkbox"/> 計画地を示した地図		
<b>関係図面</b>	建築物等の図面	<input type="checkbox"/> 配置図 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 基礎伏図 <input type="checkbox"/> 基礎断面図 (立面図・外観図・間取図は不要です)	
	付帯構造物などの図面	各種配管など	<input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 断面図(平面図に掘削深度を記載する場合は省略可)
		便槽・浄化槽など	
	計画地の改変に関する図面	切土および盛土	<input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 断面図(現況・計画高さを記載)
擁壁などの構築物			
敷地の舗装など			

掘削深度を必ず記載してください

※図面は、敷地内の**どの範囲を、どの位の深さまで掘削するのかが明確に分かるもの**を添付して下さい。

※上記はあくまでも参考例となります。計画毎に必要な書類の加除を行ってください。

### ◆提出時期

工事の計画立案後、**できるだけ早期に**ご提出ください。(計画の詳細な内容および図面が揃わない段階でも協議可能な場合がありますので、町へお問い合わせください)

※文化財保護法第93条により、協議後に必要となる**発掘届**の届出は、**工事着工の60日前**とされています。**協議書**の提出から回答受理までには**1か月程度**掛かることもありますので、十分な余裕をもってご提出ください。

### ◆注意事項

- ・「申請者」=「事業主体者」となります。
- ・個人の方が住宅等を新築・増改築される場合、標題に**個人名は含めず**「個人住宅建築計画」等としてください。
- ・実施予定期間は、協議書の提出時点で計画されている予定期間を記入してください。(協議の結果で**確認調査**が必要とされた場合、調査期間を要するため、工事着手時期の変更についてご協力をお願いすることがあります)

提出先 〒981-3680

黒川郡大和町吉岡まほろば一丁目1番地の1

大和町教育委員会 生涯学習課 文化財係

電話:022-345-7508 FAX:022-344-3755 MAIL:syakyo@town.taiwa.miyagi.jp

◆協議書 作成例

同一の書類を2部提出してください。

[協議書様式]

協議者が文書番号を設けていない場合は記入不要です。

第 号  
令和5年 月 日

( 大和町 教育委員会経由)

宮城県教育委員会教育長 殿

事業主体者(=申請者・施主)の住所・氏名を記載。  
(会社の場合はその所在地・社名・社長名)

住所：黒川郡大和町〇〇字〇〇△△番地

氏名：大和 太郎  
大和 花子

個人住宅建築、工場建築、電柱新築等、簡潔な事業内容を記載。  
※「大和太郎様邸」のように個人名は入れないでください。

個人住宅建築

計画と埋蔵文化財の関わりについて（協議）

このことについて、下記のとおり開発の基本計画を策定中ですが、開発の計画及び実施に当たり、文化財保護法の趣旨及び適用措置を十分に尊重いたしたく、関係書類を添えて協議いたします。

記

具体的な事業名を記載。  
上記の標題部と同じでも構いません。

- 1. 事業名： 個人住宅建築工事
- 2. 事業実施年月日： 令和5年9月1日～令和6年3月30日
- 3. 事業実施予定地： 黒川郡大和町〇〇字□□××番地
- 4. 協議対象遺跡： 〇〇遺跡（〇〇〇〇〇）

該当する遺跡名・遺跡番号を記載。  
町教育委員会に照会してください。

5. 提出書類

①計画概要書

次ページ参照

②位置図及び関係図面

6. 備考：

【参考】

- (1)計画地の位置図
- (2)建築物関連の図面
  - ・敷地内の位置が特定できる建物配置図(既存建物も含む)
  - ・平面図・基礎伏図・基礎断面図
- (3)付帯構造物関連の図面
  - ・屋外給排水経路図および断面図
  - ・便槽や浄化槽などの平面図および断面図
  - ・その他、掘削を伴うような施設の平面図および断面図  
(土留基礎、フェンス基礎など)
- (4)計画地の改変に関する図面
  - ・表層改良や柱状改良等がある場合は、改良杭の配置図および断面図

※敷地内のどの範囲を、どの位の深さまで掘削するのかが明確に分かる図面(数値入り)を A4 サイズで添付してください。

◆計画概要書 作成例

同一の書類を2部提出してください。

任意様式（個人住宅等）

計画概要書

事業名	個人住宅建築工事		
事業の概要	既存住宅一棟を解体し、木造二階建専用住宅一棟を新築		
計画地	黒川郡大和町〇〇字□□××番地		
遺跡名	〇〇遺跡（〇〇〇〇〇）		
時代	古墳・奈良・平安	種別	散布地
実施予定期間	令和 5年 9月 1日 ~ 令和 6年 3月 30日		
事業面積	1 2 0 0 m <sup>2</sup>		
建築面積	1 1 5 m <sup>2</sup>		
建物構造	木造二階建		
基礎構造	鉄筋コンクリートベタ基礎（最大掘削深度：設計G L - 4 5 cm）		
地盤改良	柱状土壌改良 5 0 か所（最大掘削深度：設計G L - 3 0 0 cm）		
切土・盛土	切土 面積 1 5 0 m <sup>2</sup> （現況G L - 0 ~ 5 0 cm） 盛土 面積 5 0 m <sup>2</sup> （現況G L + 0 ~ 5 0 cm）		
敷地舗装	アスファルト舗装 2 0 0 m <sup>2</sup> （表層厚 5 cm、路盤厚 2 0 cm）		
給排水設備	給水管（掘削幅 5 0 cm 設計G L - 4 5 cm） 排水管（掘削幅 5 0 cm 設計G L - 6 0 cm） 雨水管（掘削幅 5 0 cm 設計G L - 4 0 cm） 浄化槽（掘削幅 5 0 cm 設計G L - 2 5 0 cm） その他（ ）		
その他の掘削を伴う工事	既存住宅解体・基礎撤去、樹木撤去 物置設置（最大掘削深度：設計G L - 4 5 cm） 擁壁設置（L型、L = 2 0 m、掘削幅 cm、掘削深度 5 0 cm）		
連絡先	9 8 1 - 0 0 0 0 黒川郡大和町◇◇字〇〇××番地 〇〇建築株式会社 設計課 大和花子 電話 0 2 2 - 3 4 5 - 0 0 0 0 FAX 0 2 2 - 3 4 4 - 0 0 0 0		

事業の概要を簡潔に記載

遺跡の名称・番号・時代・種別は町教育委員会へ照会してください。

事業用地全体の面積

最大掘削深度

敷地の切土・盛土を行う場合はその高さ

敷地舗装を行う場合はその面積と厚さ

各配管の掘削深度

掘削を伴う工事は全て記載

(回答書送付および協議内容の確認に使用します)

「計画概要書」に固定様式はなく、上記は参考例です。計画毎に情報の加除を行ってください。